

## 分野別委員会（第26期・第8回） 土木工学・建築学委員会 議事要旨

日時：令和6年3月28日（木）15:00-17:00

会場 日本学術会議6-A（1）会議室（ハイブリッド）

参加者：竹内、佐々木、沖、下田、多々納、田村、大岡（記録）\*下線ハイブリッド参加

### 【議事要旨】

#### 1. 第1回議事要旨の確認（田村） 資料8-1

若干の文言を修正の上、承認された。

#### 2. 各分科会の活動状況報告 資料8-2, 8-3

##### ● IRDR分科会（田村）

3月13日に第1回分科会が開催された。平田先生が新たに分科会に加わり現在17名体制。委員長は寶先生、副委員長は小野祐一先生。幹事は臼田先生と大原先生。今後の活動目標についての説明。

##### ● 気候変動と国土の未来分科会

3月中に分科会日程調整。分科会委員として新たに田井明連携会員（福岡工業大学）を加えることが決定された。委員長についてはこれから決定。

##### ● WFEO分科会（竹内）

まだ開かれていない。委員長等未定。

##### ● インフラレジリエンス分科会（多々納）

3月22日に第1回分科会が開催された。委員長は多々納先生、副委員長は高橋先生、幹事は土屋先生と松田先生。今期はレビューを行う予定。

##### ● 複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会（竹内）

2月27日に第1回分科会が開催された。委員長は竹内先生、副委員長は久田先生、幹事は小野悠先生と平田先生。防災減災学術連携委員会とは守備範囲を分けて事前復興、まちづくりを中心に考える。

##### ● カーボンニュートラル都市分科会（下田）

3月21日に第1回分科会が開催された。委員長は下田先生、副委員長は大岡、幹事は伊藤先生と長澤先生。大塚直先生、野口貴文先生が参画済み。IPCCの動向や長期的な視野と関連し、2035年を目標とする議論を行う。環境工学連合講演会との連携も図る。

##### ● 子どもの成育環境分科会（竹内）

3月12日に第1回分科会が開催された。委員長は三輪先生、副委員長は湯川先生、幹事は齋尾先生。

##### ● デザインをめぐる知の構築と社会的理解分科会（佐々木）

2月28日に第1回分科会が開催された。委員長は佐々木先生、副委員長は田井先生、幹事は小野悠先生と齋尾先生。災害復旧復興デザインに焦点を置く。

#### 3. 令和6年度全体会（5/27, 13:00-17:00）の構成について 資料8-4

令和6年度全体会のプログラムについて議論された。

- 基調講演1は沖第三部部长
- 基調講演2は今村連携会員
- 基調講演3は竹内委員長

- 環境委員会からの話題提供は土木工学・建築学委員会の報告の後にする。
- 全体会の後の意見交換会の司会は大岡が行う。
- 全体会の午前中に多くの分科会が開かれるが、I R D R 分科会・インフラレジリエンス分科会・複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会は合同開催とする。他は独立して行う。
- 出欠確認（午前・午後・意見交換会）については、田村幹事が文案を作成し、各分科会委員長から分科会委員にお知らせを行う。分科会に所属しない連携会員については、土木工学・建築学を専攻とした連携会員に日学事務局藤田から連絡を行う。

#### 4.その他

今後の日本学術会議・同第三部会・同土木工学・建築学委員会について意見交換を行った。  
大岡委員を、土木工学・建築学委員会の幹事とすることが承認された。

#### 5. 次回委員会

5月27日（月）昼休みに日本学術会議にて行う。